

# 読賣新聞

2017年(平成29年)

5月19日 金曜日

25面



## がん退治 笑いのパンチ 桂文枝さんら実証公演

大阪国際がんセンター(大阪府中央区)は18日、施設内で、笑いががんに及ぼす影響を調べる実証研究の初公演を行った。桂文枝さんが落語を披露するなどし=写真=、同センターで治療を受ける40人の患者らが巧みな話術を楽しんだ。公演は8月まで定期的に行われる。

吉本興業や松竹芸能、米朝事務所の協力を得て、「わろてまえ劇場」のタイトルで実施。**マンション開発を手がけるリバー産業(同区)の寄付金を活用する。**

この日の公演には、文枝さんのほか、桂三語さん、桂三風さんが登場。文枝さんは「おおいに笑ってストレスを発散してください。笑ってもらわないと私のストレスになる」と言って場を沸かせた。女性患者(63)は「笑って体が軽くなった。笑いの力はすごいと感じた」と話していた。

研究では、患者にも協力してもらい、落語や漫才を楽しむことで免疫細胞などがどう変化するかを調べる。今後の公演には、桂ざこばさん、漫才コンビ「オール阪神・巨人」らが出演する予定。